

この調査シリーズは、労働政策研究・研修機構（JILPT）が平成 20 年 2 月に実施した『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関するフォローアップ調査」の結果の概要を報告することを目的としている。この調査は、平成 18 年（2006 年）10 月に JILPT が実施した『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査」の追跡調査として、同調査の回答者のうち正社員でかつ 60 歳定年の適用を受けるとした人々を対象に実施したものである。第 I 部ではこの調査の概要を説明し、次いで第 II 部で調査結果データを概説する。調査シリーズでは調査結果データの紹介に重点を置き、せいぜいクロス集計結果をグラフでみることでいさような特徴を指摘するにとどめており、それ以上のデータの解析ないし分析は抑制的に取り扱っている。さらに、巻末には基礎集計結果の統計表を掲出している、

第 I 部 調査の概要

I - 1 調査の目的

この調査シリーズで報告する『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関するフォローアップ調査（以下「今回調査」という。）は、JILPT が平成 18 年（2006 年）10 月に実施した『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査（以下「前回調査」という。）の追跡調査として実施したものである。したがって、まずは前回調査の趣旨・目的から説明することとしたい¹。

いわゆる「団塊の世代」²の先頭集団（昭和 22 年生まれ）が平成 19 年（2007 年）には 60 歳台入りをし、この世代のいわゆる高齢・引退過程入りが始まる。このことを背景に今後のわが国経済社会の行方をめぐって種々の議論が交わされている。楽観、悲観、あるいは中立いずれをとるにせよ、その動向は「団塊の世代」の人々の考えや生活設計に大きく依存することは間違いのないところである。このため、これらのことを明らかにするために基礎となるデータを広く提供するとともに、適宜の分析を通して「団塊の世代」の今後における高齢期の就業や生活の方向性に関する一つの試論を提供し、政策担当者を始めとして関係者における議論の活性化を図ることを目的として、前年に当たる平成 18 年（2006 年）において、「団塊の世代」を対象に今後の引退過程における就業をはじめとする生活設計や見通しなどについて調査を行うこととしたのが、前回調査であった。

その後を受けて今回調査は、「団塊の世代」の先頭集団がいよいよ 60 歳を迎えた段階にお

¹ 前回調査の概要及び結果データについては、JILPT 調査シリーズ No.30『団塊の世代』の就業と生活ビジョン調査結果」としてとりまとめ公表している。（<http://www.jil.go.jp/institute/research/2007/030.htm>）

なお、前回実施した調査には、「団塊の世代」の就業者本人を対象にした「本人調査」と、「団塊の世代」就業者の妻を対象とした「妻調査」とがあるが、ここでは、前者の「本人調査」を「前回調査」としている。

² 「団塊の世代」とは、戦後間もない昭和 22 年から 24 年までの間に出生した、前後の年代に比べて突出して多い数の人口集団（700 万人程度）のことであり、周知のように堺屋太一氏が同名の小説で命名したものとされている。なお、調査では、後述のように対象をやや拡大して昭和 22 年から 26 年までのいわゆる広義の「団塊の世代」を対象としている。

いて、前回調査の追跡調査を実施し、前回調査から今回調査までの間における実際の就業状態や高齢期における就業・生活ビジョンに関する意識の変化を把握することを第一の目的としている。このため今回調査では、こうした変化が特に注目される 60 歳定年の正社員を対象を限定したところである。

I-2 調査対象者及び回答状況

今回調査の対象者は、前回調査の回答者のうち、正社員であり、かつ、60 歳定年の適用を受けていると回答した人々とした。前回調査の回答者でこの条件に該当する人は 821 人であったが、このうち調査時点（平成 20 年 1 月下旬）で調査可能であった 798 人を対象に調査を実施し、754 人（94.5%）から有効な回答があった³。

前回調査の 821 人と今回調査の 754 人について、主な属性別（前回調査による）に比較してみると図表 I-1（次ページ）のようになった。各属性の構成比でも、小さな出入りはあるものの、総じて前回調査結果と今回調査結果は近似しており、サンプル面で調査結果に相当の変化を及ぼすほどの影響はないと考えられる。すなわち、調査対象からの脱落や調査全体への無回答は、属性面では概ねランダムに生じたと考えてよいであろう。

とはいえ一方、そのことと前回調査が持っていたサンプル面での留意事項とは別問題であり、前回調査同様今回調査も例えば、実態に比べて、中卒の割合が低く大卒の割合が高くなっていることには引き続き留意する必要がある⁴。

I-3 調査の方法

調査は、第 I 部末に掲載した調査票による郵送調査で行った。平成 20 年（2008 年）1 月下旬に発送し、同年 2 月 5 日までに郵便ポストへの投函を求めた。調査票の発送及び回収、個票データの作成は、調査対象の基礎となった郵送調査モニターを保有している民間調査機関に業務委託したことから、JILPT には回答者に関する個人情報（個人を特定できる情報）は一切入手することなく実施された。

I-4 調査の内容

調査の詳細な内容については添付の調査票を参照願いたい。追跡調査という性格上、
①前回調査からの異同、特に就業状態や勤め先の会社等の変更などの有無と変更があった

³ 前回調査の調査対象を選定する際の基礎となった母集団は、民間調査機関（株）インテージが保有する、調査対象として適正に管理されている郵送調査モニターである。したがって、今回調査の実施時点までの間に同モニターから脱落された人々がいたため、調査対象者数は前回調査よりも少なくなったものである。

⁴ 調査対象の年代が同じである総務省統計局「平成 14 年就業構造基本調査」の 50～54 歳によれば、会社役員及び正規職員・従業員の学歴構成（卒業者ベース）は次のようになっている。（%）

中卒	高卒	短大・高専卒	大卒・院修了
16.5	50.0	8.6	24.8

図表 I—1 前回調査及び今回調査の回答者の属性比較
—前回調査の60歳定年の正社員—

	前回調査(821人)		今回調査(754人)			前回調査(821人)		今回調査(754人)	
性別	821	100.0	754	100.0	勤め先企業の産業	821	100.0	754	100.0
男性	676	82.3	622	82.5	農林水産業	1	0.1	1	0.1
女性	145	17.7	132	17.5	鉱業	1	0.1	1	0.1
誕生年	821	100.0	754	100.0	建設業	58	7.1	56	7.4
昭和22年(1947年)	148	18.0	136	18.0	製造業	247	30.1	222	29.4
昭和23年(1948年)	141	17.2	134	17.8	電気・ガスなど公益産業	7	0.9	6	0.8
昭和24年(1949年)	185	22.5	167	22.1	運輸業	43	5.2	37	4.9
昭和25年(1950年)	180	21.9	161	21.4	通信業	21	2.6	20	2.7
昭和26年(1951年)	155	18.9	146	19.4	卸売業	53	6.5	48	6.4
無回答	12	1.5	10	1.3	小売業	33	4.0	31	4.1
学歴	821	100.0	754	100.0	金融・保険業	44	5.4	39	5.2
中卒	45	5.5	41	5.4	不動産業	11	1.3	10	1.3
高卒	312	38.0	286	37.9	旅館・ホテル	5	0.6	5	0.7
各種学校・専修学校卒	23	2.8	21	2.8	労働者派遣事業	2	0.2	2	0.3
高専卒	15	1.8	14	1.9	業務請負事業	10	1.2	10	1.3
短大卒	23	2.8	23	3.1	病院・学校など公共サービス	68	8.3	64	8.5
大卒	312	38.0	285	37.8	上記以外のサービス業	41	5.0	39	5.2
大学院修了	27	3.3	27	3.6	公務	120	14.6	112	14.9
無回答	64	7.8	57	7.6	その他の産業	52	6.3	48	6.4
役職	821	100.0	754	100.0	わからない・無回答	4	0.5	3	0.4
一般社員クラス	288	35.1	264	35.0	企業規模	821	100.0	754	100.0
職長・班長クラス	55	6.7	50	6.6	1～29人	26	3.2	25	3.3
係長クラス	82	10.0	73	9.7	10～29	62	7.6	61	8.1
課長クラス	201	24.5	188	24.9	30～49	51	6.2	48	6.4
部長クラス	153	18.6	142	18.8	50～99	71	8.6	64	8.5
役員クラス	39	4.8	34	4.5	100～299	114	13.9	102	13.5
無回答	3	0.4	3	0.4	300～999	134	16.3	121	16.0
職種(仕事の内容)	821	100.0	754	100.0	1,000～4,999	169	20.6	153	20.3
専門的・技術的な仕事	228	27.8	215	28.5	5,000人以上	186	22.7	173	22.9
管理的な仕事	199	24.2	184	24.4	無回答	8	1.0	7	0.9
事務の仕事	141	17.2	130	17.2					
販売の仕事	82	10.0	72	9.5					
サービスの仕事	42	5.1	38	5.0					
保守の仕事	8	1.0	6	0.8					
運輸・通信の仕事	26	3.2	22	2.9					
技能工・生産工程の仕事	52	6.3	46	6.1					
労務作業等の仕事	21	2.6	21	2.8					
その他	15	1.8	14	1.9					
無回答	7	0.9	6	0.8					

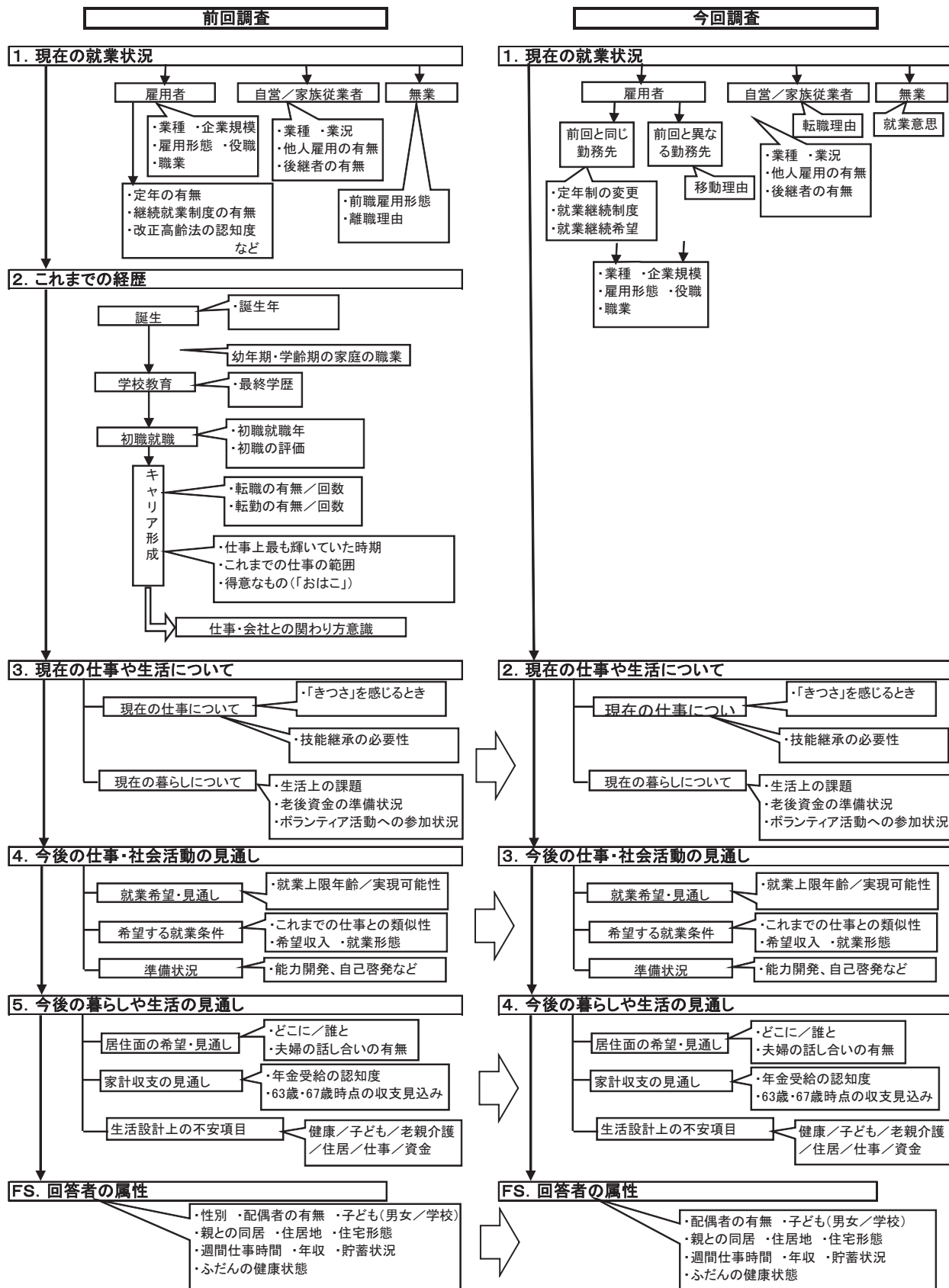
(注) 属性は、前回調査によっている。

場合のその理由などを把握すること、

②可能な限りにおいて、前回調査と同じ設問を行って、各調査時点における判断や意識を把握したうえで、その変化をみること、

の2点に留意して質問を設定した。前回調査と今回調査における調査票の構造を示したものが図表 I—2 (次ページ) であるが、今回調査における「1. 現在の就業状況」においては、選択肢は可能な限り前回調査と同様のものにしつつも、雇用・就業形態や勤め先の会社等について前回調査からの変更の有無別に分けて設問を設定した。前回調査の「2. これまでの経歴」については、過去を調査したものであるため今回は調査していない。ついで、今回調査の「2. 現在の仕事や生活について」以降は、調査時点の状況や今後の希望・見通しを尋ねたものであるため、前回調査の「3. 現在の仕事や生活について」以降とまったく同じ設問とし、結果を比較できるようにした。なお、今回調査の調査票の冒頭において、特に次の

図表 I-2 前回調査と今回調査の調査票の構成(構成)

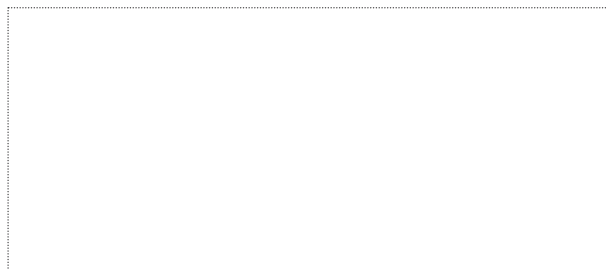


お願いを明記し、調査のその時点での状況等を回答することを依頼した。

〔ご回答に当たってのお願い〕

この調査は、2006（平成 18）年 10 月に実施しました『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査において、その調査時点で 60 歳定年の企業等に正社員として勤務していると回答された方を対象に実施するものです。前回の調査と同じ内容の調査項目もありますが、前回の調査にどのような回答をされたかは気にされずに、現在の状況やお考えをそのままお答えください。

その結果かどうかはなんともいえないが、回答の中には前回調査への回答と矛盾するとも考えられる回答もみられている。例えば、定年以降も現在の会社等で就業を継続できる制度の有無について、前回調査では「あり」と回答しているのに今回調査では「ない」と回答している人がわずかながらいる、といったことである。しかしながら、それらは質問紙調査のある種の限界と面白さを反映しているとも考えられるので、そうしたデータもそのまま紹介し、この後の評価はそれぞれの読者にお任せすることとしたい。



お名前	(ご協力いただいた方)	様
ご住所	(ご住所等変更がある方のみご記入ください)	
	〒	-
Tel ()		-

「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関するフォローアップ調査

<A0004268>

2008年1月

拝啓 厳寒の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、私ども(株)インテージの調査にご協力くださりまして、誠にありがとうございます。皆さまのご意見は、貴重な資料として活用させていただいております。

さてこの度、独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)より委託を受け、「団塊の世代」の就業と生活のビジョンに関するフォローアップ調査を行うことになりました。本調査は、2006年10月時の『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査にご回答いただきました皆さまへ、引き続きのご協力をお願いしております。

いよいよ「団塊の世代」が60代を迎えはじめています。700万人ともいわれるこの世代の人々がどのような60代を送られるかは、わが国の経済社会のあり方にも大きな影響を与えることとなります。JILPTでは、そうした実態を把握・分析するとともに、その政策課題を探る研究プロジェクトを進めており、この調査はその重要な一環として、昭和22~26年生まれの方を対象に行うものです。

モニターの皆様にご記入頂いた内容については、すべて数値化された後、統計的に処理されます。また研究以外の目的には使用されませんので、プライバシーを侵害するようなことはありません。つきましては是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

調査に関して不明な点などございましたら遠慮なくご連絡ください。ご多忙中恐縮ですが、同封の封筒(切手不要)により、**2月5日(火曜日)**までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、些少ではございますがお礼といたしまして図書カードを同封させていただきましたので、ご笑納ください。末筆ながら、ご家族の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

敬具

ご記入上の注意

●今回は宛名の方ご本人様にご記入ください●

1. 特に指定のない限り、回答は選択肢の番号に○印をつけてください。 には具体的な数字を記入してください。
2. 選択肢で「その他」に○をつける場合、なるべく具体的な事柄を記入してください。
3. ご記入いただきました調査票は、お手数でもご記入もれなどないかお確かめの上、同封の返送用封筒(切手は不要です)にて**2月5日(火曜日)**までにご投函ください。

<調査の趣旨に関する問い合わせ>

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
担当：主席統括研究員 浅尾

(TEL: 03-5991-5171, Email: , URL: <http://www.jil.go.jp>)

<調査票の内容、記入方法に関する問い合わせ>

〒203-8686 東京都東久留米市本町 1-4-1

株式会社インテージ メールセンター

TEL: 0120-483-433 (フリーダイヤル: 平日 9:00~17:00) 担当: 久保

<お願い>モニター登録情報(住所、電話番号等)に変更のある方、また今後アンケートをお送りするに差しさわりのある方は、調査の委託先である(株)インテージリサーチの上記担当者までご連絡ください。



<独立行政法人労働政策研究・研修機構とは・・・>

「独立行政法人労働政策研究・研修機構法」(平成14年法律第169号)に基づき設立された厚生労働省所管の公的な法人で、労働政策の企画立案に資する調査研究業務などを行っています。調査研究の結果は、労働政策研究報告書などの形でとりまとめ、厚生労働省における労働政策の企画や労働行政推進の基礎資料として活用されるとともに、労働関係の政策論議の活性化に向けて、関係者を始め広く提供しています。

詳細は、JILPT ホームページ (<http://www.jil.go.jp>) をご覧ください。

〔ご回答に当たってのお願い〕

この調査は、2006（平成 18）年 10 月に実施しました『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査において、その調査時点で 60 歳定年の企業等に正社員として勤務していると回答された方を対象に実施するものです。前回の調査と同じ内容の調査項目もありますが、前回の調査にどのような回答をされたかは気にされずに、現在の状況やお考えをそのままお答えください。

1. 現在のお仕事についてお伺いします。

問 1 現在どのような形でお仕事をされていますか。（○は一つ）

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 会社や官庁などに雇われている（雇用者である）
（従業員や職員だけではなく会社の役員を含みます） | → | 引き続き問 2 へ |
| 2. 自分で事業を営んでいる（自営業主である） | → | 4 ページ問 3 へ |
| 3. 家族や親族が自営する事業で働いている（家族従業者である） | → | 5 ページ問 4 へ |
| 4. 上記のいずれともいえない形で仕事をしている | → | 5 ページ問 5 へ |
| 5. 仕事はしていない | → | 5 ページ問 5 へ |

（問 1 で「1」と回答された方（雇用者）のみお答えください。）

問 2 現在の会社やお仕事についてお答えください。

（注：出向中の方は、現在実際に勤務されている会社等についてお答えください。）

問 2-1 現在勤務されている会社等は、前回の調査時点（平成 18 年 10 月）で勤務されていた会社等（以下「前の会社等」といいます。）と同じですか。（○は一つ）

- | | | |
|----------|---|-------------|
| 1. 同じだ | → | 次ページ問 2-2 へ |
| 2. 違う | → | 引き続き次の付問へ |
| 3. わからない | → | 5 ページ問 6 へ |

付問 2-1-1 前の会社等を辞めたり変わったりした主な理由は、何ですか。（○は一つ）

- | | | |
|-------------------------|----------------|--------|
| 1. 前の会社等で定年を迎えた | 4. 今の会社等から誘われた | 7. その他 |
| 2. 前の会社等から出向した | 5. 自己の健康上の都合で | } |
| 3. 前の会社等の経営上の都合（リストラ等）で | 6. その他の自己都合で | |

付問 2-1-2 今の会社等の業種は、どれですか。（○は一つ）

- | | | |
|-----------------|--------------------------|----------------------|
| 1. 農林水産業 | 9. 小売業 | 17. 個人向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 10. 金融・保険業 | 18. 病院、学校その他公共のサービス業 |
| 3. 建設業 | 11. 不動産業 | 19. 国・県・市町村の公務 |
| 4. 製造業 | 12. 飲食店 | 20. その他 |
| 5. 電気・ガスなどの公益産業 | 13. 旅館・ホテル | () |
| 6. 運輸業 | 14. 労働者派遣事業 | 21. わからない |
| 7. 通信業 | 15. 業務請負事業 | |
| 8. 卸売業 | 16. 14、15 以外の事業所向けのサービス業 | |

付問 2-1-2-1 主に何を製造している会社ですか。（○は一つ）

- | | | |
|-------------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 食料品 | 6. ガラス・セメント関係 | 13. 船舶・航空機その他の輸送機器 |
| 2. 繊維製品 | 7. 皮革製品 | 14. 精密機器関係 |
| 3. 木材や紙関係 | 8. 鉄鋼、非鉄、金属関係 | 15. その他 |
| 4. 化学製品やプラスチック、ゴム関係の製造業 | 9. 産業用機器 | () |
| 5. 出版や印刷関係 | 10. 民生用機器 | 16. わからない |
| | 11. コンピュータ・通信機器 | |
| | 12. 自動車関係 | |

付問 2-1-3 今の会社等の規模は、どれくらいですか。（○は一つ）

- | | | | |
|------------|------------|--------------|------------------|
| 1. 1～9 人 | 3. 30～49 人 | 5. 100～299 人 | 7. 1,000～4,999 人 |
| 2. 10～29 人 | 4. 50～99 人 | 6. 300～999 人 | 8. 5,000 人以上 |

付問 2-1-4 今の会社等の形態は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 株式会社 | 6. NPO 法人、社会福祉法人などの非営利法人 |
| 2. 有限会社 | 7. 公営企業 (独立行政法人などを含む。) |
| 3. 合名又は合資会社 | 8. 官公庁 |
| 4. 協同組合など | 9. その他 |
| 5. 個人企業 | () |

次ページ問 2-3 へお進みください

(この問には、引き続き前の会社等に勤務されている方がお答えください。)

問 2-2 定年前後の従業員を対象とした雇用制度についてお伺いします。

問 2-2-1 前回調査 (平成 18 年 10 月) 以降、定年制に変更がありましたか。

- | | | |
|--|---|--|
| 1. 定年制自体が廃止された
2. 定年年齢が延長された
3. とくに変更はない
4. わからない | → | 付問 2-2-1-1 現在の定年年齢は何歳ですか。
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 歳 |
|--|---|--|

問 2-2-2 定年以降も仕事が続けられる制度がありますか。(○は一つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 希望すればほぼ全員仕事が続けられる制度がある
2. 一定の基準に該当すれば仕事が続けられる制度がある
3. 会社の方から望まれた場合に仕事が続けられる制度がある
4. とくにそうした制度はない
5. わからない | |
|--|--|

付問 2-2-2-1 あなた自身は、このような制度により定年以降も現在の職場で引き続き仕事を続けようと思いませんか。(○は一つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 既に定年に達しており、現に制度を活用して就業を継続している
2. 定年に達したときには、制度を活用して就業を継続したい
3. 今の会社等で定年以降に就業を継続しようとは思わない
4. わからない／なんともいえない | |
|--|--|

付問 2-2-2-2 定年以降就業を継続する際に、仕事の内容や就業条件に変化がありましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 仕事の内容が以前よりは容易なものになった
2. 1日の労働時間が短くなった
3. 週の労働日数が少なくなった
4. 基本給与額が少なくなった
5. 各種手当で支給されなくなったものがある
6. 働く場所が変更になった
7. 後進への技能、技術の伝達が主な仕事になった
8. その他 ()
9. とくに変化はなかった
10. わからない／なんともいえない | |
|---|--|

引き続き問 2-3 にお答えください

(ここからは、雇用者である方全員がお答えください。)

問 2-3 雇用形態は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | | |
|---------|------------|-----------------|
| 1. 正社員 | 4. 嘱託社員 | 7. 労働者派遣事業の派遣社員 |
| 2. 出向社員 | 5. パートタイマー | 8. 7以外の派遣社員 |
| 3. 契約社員 | 6. アルバイト | 9. その他 () |

付問 2-3-1 出向元へ復帰の見通しはいかがですか。(○は一つ)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 復帰する | 2. 復帰しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問 2-4 現在の役職は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

(注：非正規の方も役職に就いている場合は適宜選択し、とくに役職はない場合は「1. 一般社員クラス」に○を付けてください。)

- | | | |
|-------------|----------|----------------------|
| 1. 一般社員クラス | 4. 課長クラス | 6. 役員クラス (部門の管理職を兼務) |
| 2. 職長・班長クラス | 5. 部長クラス | 7. 6以外の役員クラス |
| 3. 係長クラス | | |

問 2-5 現在のお仕事は、いずれにあてはまりますか。(もっとも近いものに一つだけ○)

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. 専門的・技術的な仕事 | 5. サービスの仕事 | 8. 技能工・生産工程の仕事 |
| 2. 管理的な仕事 | 6. 保安の仕事 | 9. 労務作業等の仕事 |
| 3. 事務の仕事 | (警備、守衛など) | 10. その他 |
| 4. 販売の仕事 | 7. 運輸・通信の仕事 | () |

次ページの間 6 へお進みください

(問 1 で「2」「3」と回答された方 (自営業主・家族従業者) のみお答えください。)

問 3 自営業となった理由やその事業の内容などについてお答えください。

(注：前回の調査時点 (平成 18 年 10 月) で勤務されていた会社等を「前の会社等」と呼んでいます。)

問 3-1 転職をされた主な理由は、何ですか。(○は一つ)

- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 前の会社等で定年を迎えたから | 4. その他 |
| 2. 前の会社等の経営上の都合で離職したから | |
| 3. 現在の自営業を継ぐ必要があったから | |

問 3-2 営んでおられる事業は、次のどれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 親など親族の家業を現在の事業主が継いだ |
| 2. 家業ではないが、現在の事業主が前の事業主から頼まれて後継者となった |
| 3. 現在の事業主が自分で起業した |
| 4. その他 |

問 3-3 主な業種は、いずれにあてはまりますか。(○は一つ)

- | | | |
|----------|------------|-----------------|
| 1. 農林水産業 | 7. 小売業 | 13. 事業所向けのサービス業 |
| 2. 鉱業 | 8. 卸売業 | 14. 個人向けのサービス業 |
| 3. 建設業 | 9. 金融・保険業 | 15. その他のサービス業 |
| 4. 製造業 | 10. 不動産業 | 16. その他の業種 () |
| 5. 運輸業 | 11. 飲食店 | |
| 6. 通信業 | 12. 旅館・ホテル | |

問 3-4 現在の事業では、ご家族や親族の方以外に人を雇っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 正規の従業員を雇っている | 付問 3-4-1 |
| 2. パートタイマーやアルバイトなどを常時雇っている | <input type="text"/> 人程度 |
| 3. 必要なときだけ臨時に雇うことがある | 付問 3-4-2 |
| 4. 原則として人は雇わない | <input type="text"/> 人程度 |
| 5. なんともいえない | |

問 3-5 現在、事業は順調ですか。(○は一つ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 順調に伸びている | 4. かなり悪い状態である |
| 2. 伸びてはいないがなんとかなっている | 5. なんともいえない |
| 3. あまり良い状態ではない | |

次ページの間 6 へお進みください

(問1で「4」と回答された方(問1の「1」～「3」のいずれともいえない形で仕事をしている方)のみお答えください。)

問4 お仕事の形としてもっとも近いものはどれですか。(○は一つ)

1. シルバー人材センターを通じて仕事をしている
2. 1以外の公的な高齢者就業支援機関を通じて仕事をしている
3. たまに個人的な知り合いなどからの依頼を受けて仕事をしている
4. その他 []

問6へお進みください

(問1で「5」と回答された方(現在仕事をしていない方)のみお答えください。)

問5 現在お仕事を探されていますか。(○は一つ)

1. すでに次の仕事は決まっている
2. 仕事を探しており、すぐにでも仕事に就きたい
3. 仕事を探しているが、良い仕事があれば慌てて就く必要はない
4. ゆくゆくは何か仕事をしたいと思うが、現在はとくに探していない
5. 仕事をしたいとは思わない

問7へお進みください

2. 現在の仕事や生活などについてお伺いします。

(現在仕事をお持ちの方がお答えください。)

問6 現在の仕事をめぐる状況についておたずねします。

問6-1 現在のお仕事を遂行されるなかで、どのような場合にきつきをお感じになりますか。(○は一つ)

1. 全般的に仕事がきついと感じる
2. 仕事が立て込んだときにきつと感じる
3. トラブルの発生など通常と違う状況のときにきつと感じることがある
4. きつと感じることはあまりない
5. なんともしない

問6-2 同じ仕事をするとして、現在のあなたの職業能力は、仕事を始めて数年の若い人と比べてどれくらいにあたると思いますか。(○は一つ)

1. 若い人をかなり上回っていると思う
2. 若い人よりは上回っていると思う
3. 同じようなものだと思う
4. 若い人にはかなわないと思う
5. なんともしない

(ここからは全員の方がお答えください。)

問7 現在の暮らしの状況などについて、おたずねします。

問7-1 自分たちの老後資金以外に、次のような生活上の課題はありますか。

(○はいくつでも)

1. 就職してはいるが未婚の子どもがいるので、今後その結婚のための出費が予想される
2. 就学中の子どもがいるので、まだまだ教育費が掛かりそう
3. 住宅ローンがまだかなり残っている
4. 老親等の面倒をみたり介護をしたりする必要がある
5. その他 ()
6. 上記のような課題は、とくにない

問7-2 老後のための資金を考えて、蓄えの目標のようなものをたてておられますか。(○は一つ)

1. たてており、既に目標を達成している
2. たてており、目標の達成に向け努力している
3. たてていない
4. 考えたことがない

付問7-2-1 目標は達成できそうですか。(○は一つ)

1. 十分達成できる
2. なんとか達成できそう
3. 達成はかなり困難である
4. とても達成できそうにない
5. なんともしない

問 8 現在お仕事以外にボランティア活動など社会的活動に参加されていますか。(○は一つ)

- 1. 参加している
- 2. 参加していない

付問 8-1 それはどのような活動ですか。(○はいくつでも)

- 1. 商店会、商工会や消防団などの地域貢献活動
- 2. 町内会やマンション管理組合など近隣生活に関する活動
- 3. 社会福祉法人などの施設でのボランティア活動
- 4. NPO 法人（特定非営利活動法人）の運営や活動に参加
- 5. その他のボランティア団体の活動に参加
- 6. 野球やサッカーなど、子どものスポーツ活動への参加
- 7. 自分でやるスポーツや趣味のサークルなど同好会的な活動
- 8. その他（)

付問 8-2 NPO 法人の活動にはいつから参加されていますか。(○は一つ)

- 1. 5年以上前から
- 2. 3～4年くらい前から
- 3. 1～2年くらい前から
- 4. 最近参加した

付問 8-3 その NPO 法人の組織としての立上げにはかかわりましたか。(○は一つ)

- 1. かかわった
- 2. かかわっていない

3. 今後の仕事や社会活動の見通しについてお伺いします。

(現在仕事をお持ちの方のみお答えください。仕事をお持ちでない方は、次の問 10 へ)

問 9 あなたのご希望として、60 歳以降も現在の職場で仕事をされようと思いませんか。(○は一つ)

- 1. 思う／現にしている
- 2. 思わない

付問 9-1 何歳くらいまで現在の職場で仕事されたいですか。

歳くらいまで

付問 9-2 あなたのご希望は、実現しそうですか。(○は一つ)

- 1. 実現すると思う
- 2. 条件さえ整えば実現できると思う
- 3. 希望は希望で、実現は難しいと思う
- 4. なんともいえない

付問 9-3 就業を継続するのに必要な措置は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 定年年齢の延長
- 2. 定年年齢以降も引き続き雇用を継続する制度を整備すること
- 3. 定年年齢そのものの撤廃
- 4. 仕事の内容を見直すこと
- 5. 高齢者の再教育や訓練を行うこと
- 6. 短時間勤務ができるようにすること
- 7. 少ない日数での勤務ができるようにすること
- 8. 賃金や処遇を見直すこと
- 9. 技能や知識の引継ぎのための指導者として活用すること
- 10. その他 ()
- 11. 特別の措置は必要ない

(全員の方がお答えください。)

問 10 何歳くらいまで収入を伴う仕事をしたいと思われませんか。

	歳くらいまで
--	--------

付問 10-1 そのご希望は実現できそうですか。(○は一つ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 実現すると思う | 3. 実現は難しいと思う |
| 2. 条件さえ整えれば、実現できると思う | 4. なんともいえない |

問 11 60歳以降でお仕事をされるときの動機や理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 収入を得るため | 5. 家に居場所がないため |
| 2. 自分の知識や能力を活かすため | 6. その他 () |
| 3. 健康や体力を維持するため | 7. とくに理由はない |
| 4. 働くのが当たり前だから | |

問 12 60歳以降でお仕事をする場合、どのような仕事をしたいですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. これまでと同様の仕事 |
| 2. 同様ではないが、これまでの知識や経験の活かせる仕事 |
| 3. これまでと異なる分野の仕事 |
| 4. とくに仕事の内容にはこだわらない |
| 5. なんともいえない |

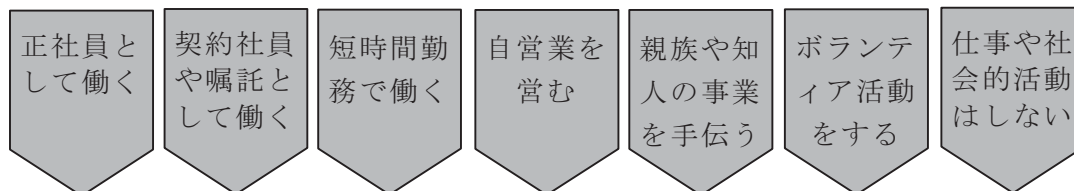
問 13 60歳以降でお仕事をする場合、少なくともどれくらいの収入を希望されますか。

(○は一つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 現在の収入と同程度 | 4. 現在の収入の3～4割程度 |
| 2. 現在の収入の7～8割程度 | 5. 特に収入にはこだわらない |
| 3. 現在の収入の半分程度 | 6. なんともいえない |

問 14 60歳以降の各年代において、どのような形でお仕事や社会的活動をされたいですか。

(横方向でそれぞれの年齢ごとにあてはまる番号すべてに○)



61歳	1	2	3	4	5	6	7
62歳	1	2	3	4	5	6	7
63歳	1	2	3	4	5	6	7
64歳	1	2	3	4	5	6	7
65歳	1	2	3	4	5	6	7
66歳	1	2	3	4	5	6	7
67歳	1	2	3	4	5	6	7
68歳	1	2	3	4	5	6	7
69歳	1	2	3	4	5	6	7
70歳以降	1	2	3	4	5	6	7

問 15 60歳以降でのお仕事や社会的活動に向けて次のような準備をされていますか。または、今後しようと思われませんか。(縦方向でそれぞれ○はいくつでも)

	今現在 している	今後しよう と 思う
仕事や社会的活動に関する情報や資料の収集	1	1
書籍、専門誌などでの必要な知識の修得	2	2
セミナーや短期間の講習会への参加	3	3
大学や大学院での履修	4	4
他の専門的な教育訓練機関による教育訓練の受講	5	5
体験学習会などへの参加	6	6
その他	7	7
とくに何もしない	8	8

4. 今後の暮らしや生活の見通しについてお伺いいたします。

問 16 60歳以降どこにお住みになろうと思っっていますか。(○は一つ)

1. 今後とも現在の住まいで暮らそうと思う
2. 当分は現在の住まいで暮らすが、いずれ転居しようと思う
3. それほど遠くない時期に転居しようと思う
4. 考えていない
5. なんともいえない

付問 16-1 転居されようとする先は、どのようなところですか。(○は一つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 大都市の中 | 5. その他の都市の中 |
| 2. 大都市の郊外 | 6. その他の都市の郊外 |
| 3. 地域の中心都市の中 | 7. 上記以外の町村地域 |
| 4. 地域の中心都市の郊外 | |

付問 16-2 どこかお考えのところがあれば、その都道府県名を教えてください。

(都道府県名)

問 17 63歳、67歳の時点で、それぞれどなたと一緒にお住みになられていると思われませんか。(縦方向で○はいくつでも)

	63歳の頃	67歳の頃
配偶者	1	1
長男	2	2
長女	3	3
その他の男の子ども	4	4
その他の女の子ども	5	5
自分の親	6	6
配偶者の親	7	7
その他の親族	8	8
友人・知人	9	9
単身で住んでいる	10	10

付問 17-1 このような見通しについて、配偶者の方と話し合われたことはありますか。(○は一つ)

1. 話合いをし、意見が一致している
2. 話合いはしたが、意見がまとまっているとはまだいえない
3. 話し合ったことはないが、同じ意見だと思う
4. 話し合ったことはない
5. なんともいえない
6. 配偶者はいない

問 18 あなたは次のような年金を受け取ることができますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 厚生年金 | → 付問 18-1 |
| 2. 共済年金 | |
| 3. 国民年金 | |
| 4. 企業年金 | |
| 5. 生命保険などの積立による私的年金 | |
| 6. 年金はない | |

付問 18-1 1～3の年金が何歳から受給できるかご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている	→ 付問 18-1-1
2. 知らない	

[] 歳から

付問 18-2 1～3の年金で月額いくらくらい受け取れるかご存じですか。(○は一つ)

1. 知っている	→ 付問 18-2-1
2. 知らない	

[] 万円くらい

問 19 63歳くらいと67歳くらいのときのあなたの家計をイメージしたとき、一月あたりでみてどのような収支になると見込まれますか。

	63歳くらいのとき	67歳くらいのとき	
A 支出総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
B 収入総額	[] 万円くらい	[] 万円くらい	
(収入内訳)	仕事からの収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	厚生年金など公的な年金収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	企業年金や私的な年金の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい
	その他の収入	[] 万円くらい	[] 万円くらい

問 20 あなたの今後の生活設計において不安と感ずることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. ご自身の健康 | 5. 子どもの行く末 | 9. 日常生活の過ごし方 |
| 2. 配偶者の健康 | 6. 医療費の負担 | 10. その他 |
| 3. 今後の生活資金 | 7. 住居の確保 | () |
| 4. 老親等の介護 | 8. 仕事のこと | 11. とくにない |

問 21 今後の就業や生活に関して、政治や行政に対する要望や意見がありましたら、ご自由にお書きください。

問 22 最後に、分析する際に必要な範囲で、あなたやご家族のことについてお伺いします。

①夫／妻は。(○は一つ)

1. あり	2. なし
-------	-------



付問 22-①-1 お仕事をお持ちですか。(○は一つ)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

②お子さんは？(いらっしゃる欄に人数をご記入ください。)

	就学前	小学生	中学生	高校生	それ以上の学生	社会人
男のお子さん	人	人	人	人	人	人
女のお子さん	人	人	人	人	人	人

③親と同居の有無 (○は一つ)

1. 同居している	2. 同居していない
-----------	------------

④お住まいの所在地は？

(都道府県名)

--

⑤お住まいの地域はどのようなところですか。(感覚でも結構です) (○は一つ)

1. 大都市の中	4. 地域の中心都市の郊外	7. 上記以外の町村地域
2. 大都市の郊外	5. その他の都市の中	
3. 地域の中心都市の中	6. その他の都市の郊外	

⑥現在の住居は？ (○は一つ)

1. 持ち家	2. 社宅など	3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅	5. その他
--------	---------	-----------	-----------	--------

⑦お仕事をやる時間(残業なども含めておおよそ1週間にどのくらい仕事されますか。)

(○は一つ)

1. 20 時間未満	5. 35 時間以上 40 時間未満	9. 55 時間以上 60 時間未満
2. 20 時間以上 25 時間未満	6. 40 時間以上 45 時間未満	10. 60 時間以上
3. 25 時間以上 30 時間未満	7. 45 時間以上 50 時間未満	11. 仕事はしていない
4. 30 時間以上 35 時間未満	8. 50 時間以上 55 時間未満	

⑧あなたご自身の年収はどれくらいですか。(税込みでのおおよその総額) (○は一つ)

1. 200 万円未満	9. 900 万円以上 1,000 万円未満
2. 200 万円以上 300 万円未満	10. 1,000 万円以上 1,100 万円未満
3. 300 万円以上 400 万円未満	11. 1,100 万円以上 1,200 万円未満
4. 400 万円以上 500 万円未満	12. 1,200 万円以上 1,300 万円未満
5. 500 万円以上 600 万円未満	13. 1,300 万円以上 1,400 万円未満
6. 600 万円以上 700 万円未満	14. 1,400 万円以上
7. 700 万円以上 800 万円未満	
8. 800 万円以上 900 万円未満	

[] 百万円台

- ⑨あなたの年収が世帯全体の収入に占める割合は。
(あなた以外に収入のある方がいないときは、「10」とご記入ください。)

--

 割くらい

- ⑩世帯の貯蓄はあなたの年収の何割くらいですか。
(例えば年収の1.5倍であれば「15」となります。)

あなたの年収の

 割くらい

- ⑪貯蓄のうち、株式や株式投信の占める割合は。

--

 割くらい

- ⑫ふだんの健康状態を次の5段階で評価してください。(○は一つ)

<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">健康</td></tr></table>	健康		<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">ふつう</td></tr></table>	ふつう		<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">不良</td></tr></table>	不良
健康							
ふつう							
不良							
5	4	3	2	1			

質問はこれで終わりです。ご回答ありがとうございました。

